



「国際センターだより」では、土木学会の国際活動の一端を紹介しています。国際センターが毎月発行している「国際センター通信」と合わせて是非ご一読ください。

News Pick Up !!

CECAR8組織委員会の第2回委員会を開催



CECAR8組織委員会
第2回委員会の様子

ACECC（会長：日下部治氏（国際圧入学会））加盟13団体の主要行事である「第8回アジア土木技術国際会議」（略称：CECAR8）の2019年4月、東京

での開催に向け、組織委員会

（委員長：茅野正恭氏（鹿島建設（株））内の企画部会、総務・財務部会、学術部会、行事部会を中心に準備が進められている。

2017年12月8日には、第2回委員会が開催され、同年4月の第1回委員会以降の各部会での検討結果の確認に加え、プレナリセッションの講演者、プログラムの構成、展示企画、テクニカルツアー、予算計画などについて意見交換が行われた。また、「Tokyo Protocol（仮称）」の原案作成方針が検討された。

CECAR8の案内サイト*では、本国際会議のスケジュール、論文投稿や参加登録等の主要日程、その他関連情報を随時掲載しているので、ぜひご覧いただきたい。

* <http://committees.jsce.or.jp/acecc/cecar>

恒例の台湾ツアーを実施（土木広報センター企画）

2012年10月に、創立100周年記念事業の一環として始まった土木学会選奨台湾土木遺産ツアー第5弾が2017年10月11日から14日に実施された。日本統治時代の50年間、台湾の基本的なインフラ整備に尽くした日本人技術者たちの足跡を体感することが

この企画のテーマであり、毎回20名ほどの参加者を得ている。今回は、八田與一の烏山頭ダム、阿里山鉄道博物館、日月潭水力発電所、台湾大学・磯永吉研修室などを視察した。



八田與一の銅像の前で

（詳しくは、日本語版HPおよび英語版HPに掲載されている国際センター通信第63号をお読みください。）

JICA 課題別研修で土木学会の事業概要を説明

国際センターでは、毎年、開発途上国の中央政府等公的機関の幹部行政官を対象に（独）国際協力機構（JICA）が実施している「社会基本整備における事業管理」コースの一講義として「土木学会の事業概要」を説明している。2017年度は16名の研修員に対し、10月26日に土木会館会議室にて、本会の沿革や組織、活動目的のほか、継続教育制度や土木技術者資格制度、本会発行の各種示方書の活用状況等を説明し、人材育成や技術基準等への取組みの現況を紹介した。最後に、毎回参加者の



JICA 研修生の面々
（土木学会の銘板の前にて）

関心の高い土木図書館を案内した。

なお、JICAが実施する集団研修には過去10年ほどの間に20回ほど参画し、来会した研修員の数は200名を超えた。

Event Calendar

国際センターが企画するイベント（行事）については、以下のURLでアクセスし、「イベント情報&開催報告」をご覧ください。

<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/>

News Pick Up ! と Event Calendar の詳細は、毎月発行の「国際センター通信」をご覧ください。

「国際センター通信」は下記の学会ホームページ（日本語版・英語版）からもアクセスできます。また、メール配信を希望される方は、国際センター事務局までメールにてお申し込みください。 ※国際センター事務局 e-mail : iac-news@jsce.or.jp

■ 日本語版 HP : <http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/26> ■ 英語版 HP : <http://www.jsce-int.org/pub/iacnews>
■ Facebook : (日本語版) <http://www.facebook.com/JSCE.Jp/> ■ (英語版) : <https://www.facebook.com/JSCE.en>